



千代田区

コミュニティサイクル事業実証実験



◆実施主体を区、運営主体を事業者とする基本協定を締結(=役割分担のもと相互に協力して実施)◆

特徴

- ① **次世代型システムを採用**(=全車電動アシスト付き、自転車にGPS・通信機能・ICカードリーダー搭載) → 簡易な貸出・返却フロー、GPS活用による位置データ分析、リアルタイムでの配置状況の把握(WEB)、柔軟かつ低コストでのポート設置、システム遠隔管理によるポートの無人化など
- ② **区内全域展開**(=45ポート、300台以上が稼働中)
- ③ **中央区・港区・江東区との相互乗り入れ実験開始**(=130ポート以上、自転車1,270台以上が稼働中)
- ④ **24時間・4か国語(日・英・中・韓国)対応のコールセンター設置**

【実施概要】

実施期間	期間	平成26年10月1日～平成29年3月31日
施設規模	運営時間	24時間(一部ポートを除く)
	自転車台数	300台以上
	ポート数	45箇所(平成28年2月末現在)

料金体系	個人	プラン	料金(税抜)	支払方法
		月額会員	基本料金:2,000円/月 最初の30分まで0円	クレジット カード
一回会員	基本料金:なし 最初の30分まで150円/回			
法人	1日バス	有人窓口	1,500円/日(23:59まで)	現金
		無人登録機	※有人窓口のみ別途ICカード発行料500円	
※月額会員・一回会員の延長料金:100円/30分				
	月額	基本料金:2,000円/月 最初の30分まで0円	口座振替 /請求書 払い	
	定額	基本料金:4,000円/月 ※延長料金なし		

初期登録	登録方法	専用Web又は無人登録機
	登録場所	専用Web又は無人登録機

管理	管理方法	遠隔管理、作業員による再配置・巡回
	貸出・返却管理	会員証を自転車にかざす又は事前予約によるパスワード入力
	集中管理	自動データ送信等による一元管理

機器	個人認証媒体	交通系ICカード/おサイフケータイ/専用ICカード/パスワード
	自転車車両	ブリヂストン製 bikke / ASSISTA UNI (電動アシスト、20インチ小径車、3段変速)
	ラック	平置き
	その他	11箇所に無人登録機設置 (ポート4箇所/スカイバスケットカウンター/ドコモショップ6箇所)

【目的】

想定したターゲット	観光/業務/私事/通勤等
実施の目的や背景等	改定千代田区第三次基本計画や環境モデル都市行動計画等に基づく施策として、地域・観光の活性化、放置自転車対策、環境意識の向上等幅広い効果を得ることを事業目的とし、実証実験において、ポートの適正配置、定着可能性、交通行動の変化、事業採算性その他の効果を検証する。

【利用実績】平成28年1月末現在

登録者数	16,486件
延べ利用回数	198,629回
1日平均利用回数	407回/日
回転率(月平均)	1.55回/台・日 (H27.10月に2.16回転を記録)
平均利用時間	約40分/回 (※1日バス等長時間利用を含む)

【実験の評価・今後の取組み】

<実験の評価と課題>

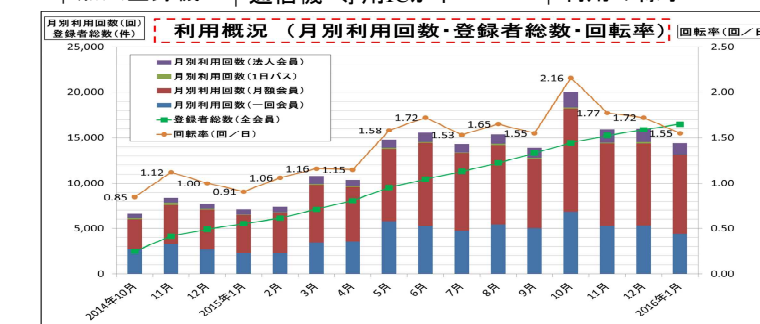
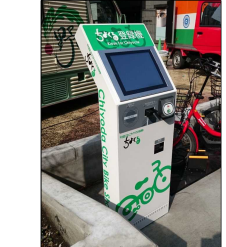
- 登録者は月平均1,000件、利用回数は月平均12,000回ずつ増加し、堅調な利用需要が窺える。また、4区(千代田区・中央区・港区・江東区)相互乗り入れ実験も開始し、事業は順調に推移している状況。
- 一方、ポート適正配置(不足・偏在の解消)、安全利用促進、交通結節機能向上、収支改善、料金体系多様化などの課題も浮き彫りに。

<今後の取組み>

- 分析・検証結果に基づく効果的な課題解決を図ることで更なる利便性向上に努める(特に、道路を活用した適正配置を推進!)
- 本格実施を見据え、広域運用と両立可能かつ近距離交通の核を担う事業スキームの構築を目指す。

担当:千代田区環境まちづくり部交通施策推進課 阿部
連絡先:03-5211-4248
運営事業者:株式会社NTTドコモ

千代田区コミュニティサイクル事業実証実験 ★サイクルポートマップ★ H28.2.29



「環境負荷の軽減」・「健康増進」・「自転車共有による駐輪場の効率的な活用」を推進し、「新たな自転車文化の創造」を目指しています。

- 貸出しポートを駅前駐輪場内とすることで運営経費を節減。
- 当日貸出しであれば返却ポートは自由。

【実施概要】

実施期間	期間	平成25年4月～継続中 (社会実験:平成21~24年度)
	運営時間	4:30~翌1:00(一部1:30)
施設規模	自転車台数	1,000台
	ポート数	11箇所
料金体系		登録料・・・無料 当日利用(24H)・・・210円 定期利用(1ヶ月)・・・2,060円 // (3ヶ月)・・・6,170円
初期登録	登録方法	身分証明証の提示⇒申込書記入⇒カード発行
	登録場所	各ポート窓口
管理	管理方法	有人管理
	貸出・返却の管理	登録カードのバーコードで管理
	集中管理	システム登録後、サーバーへデータ送信
	料金収受	現金
機器	自転車車両	・軽快車 ・新車(ブリヂストン製) ・変速機無
	ラック	既存駐輪場

【目的】

- 想定したターゲット: 観光、ビジネス等。
- 実施の目的や背景等:
 - ・慢性的な駐輪場の満車状況の打開
 - ・放置自転車削減
 - ・環境負荷の軽減
 - ・健康促進

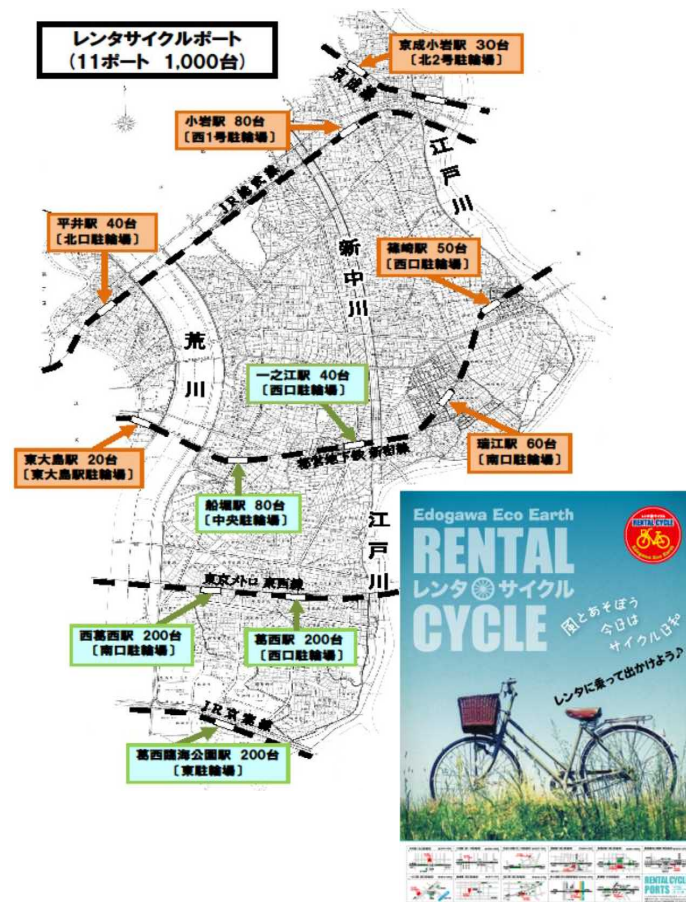
【利用実績】(平成26年度実績)

登録者数	23,400名
延べ利用回数	411,560回 H25~26年度
1日平均利用回数	564回/日
回転率	0.62回/台・日

【評価】

○ 区民への認知度も上がり、利用率も上昇しています。
 ○ 現在は、より幅広い年齢層へのアプローチとして「後ろカゴ付自転車」や「子乗せ自転車」を用意しています。
 ○ 今後の課題は、『更なる利用の拡大』と『電動自転車の導入』、『管理方法の変更(電子マネーの導入等)』とを考えています。

担当 : 江戸川区施設管理課駐輪対策係
 連絡先: 03-5662-1997(直通)



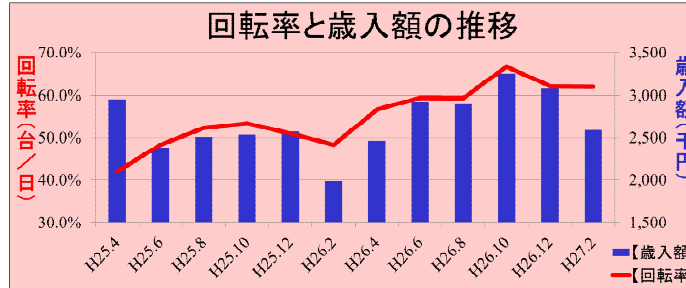
貸出しポートは区内11駅前に設置



値段が手頃です 210円/1日(24時間)



葛西臨海公園にはタンデム自転車も配置 210円/2時間





横浜市 横浜都心部コミュニティサイクル事業

- 実施主体を市、運営主体を(株)ドコモ・バイクシェアとする協働による実施
- 全車電動アシスト付自転車
- コンビニエンスストアとの連携強化(13店舗で観光客向けパス販売)
- 学校との連携による広報活動や各種イベントへの出展

【概要】

実施期間	期間	H26.4.1~H31.3.31	
	運営時間	6:00~22:00	
施設規模	自転車台数	400台	
	ポート数	39箇所(H28.3.1時点)	
料金体系	登録料	0円	
	利用料金	基本料金+利用料	
		基本料(税抜)	利用料(税抜)
	1回利用	150円/回	最初の30分 0円 超過30分毎 150円
	月額会員	2,000円/月	
	法人会員	2,000円/月	
初期登録	登録方法	携帯電話、パソコンによる登録	
	登録場所	Web、有人カウンター	
管理	管理方法	遠隔管理	
	貸出・返却の管理	自転車に設置されている操作パネルに会員証をかざすか、事前予約によるパスコード入力	
	集中管理	自動データ送信等	
	個人認証媒体	おサイフケータイまたは、交通系ICカード、専用ICカード、パスコード	
	料金收受	クレジットカード	
機器	自転車車両	・ブリジストン/bikke ・20インチ、内装3段変速、電動アシスト	
	ラック	平置き	

【目的】

- 想定したターゲット:観光/買物/業務/通勤等
- 実施の目的や背景等:「中期4か年計画」「横浜都市交通計画」「関内・関外活性化推進計画」「環境未来都市計画」などの上位計画に位置づけられた都心部活性化、観光振興および低炭素化に寄与する取組

【利用実績】(H28.1.31)

登録者数	37,132名
延べ利用回数	300,010回(H26.4~H28.1)
1日平均利用回数	447回/日(H26.4~H28.1)
回転率	1.49回/台・日(H26.4~H28.1)

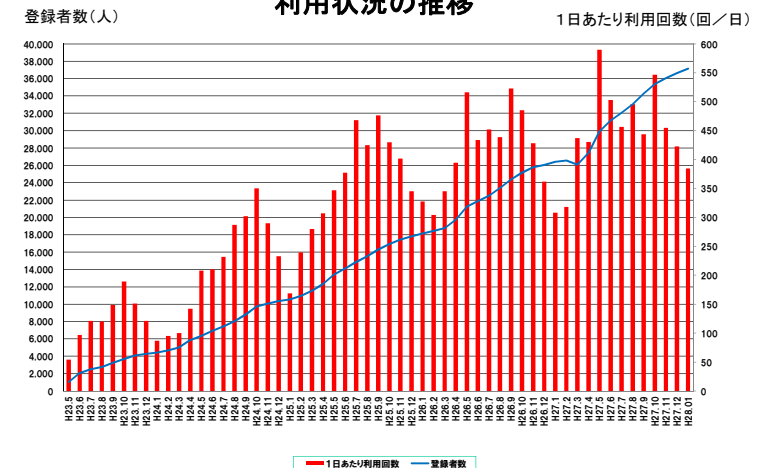
【評価】

- <評価>
- 会員登録数、利用回数ともに着実に増加している
 - 平日は通勤・業務、休日は観光と平日、休日ともに利用されている
- <課題>
- 採算の確保、利便性・視認性の高い場所へのポート設置、走行環境の整備、多言語化対応、マナー啓発、公共交通や地元企業との連携

担当 : 横浜市都市整備局都市交通課 二見、三川
連絡先: 045-671-3512
運営事業者: 株式会社ドコモ・バイクシェア



利用状況の推移





金沢市 (公共レンタサイクル「まちなのり」)

- 民間事業者(株)日本海コンサルタントが運営、市は機器類の無償貸与と運営負担金の支出
- クレジットカードを使用し、初めてでもポートにて数分で簡単に登録可能
- ホテル等の提携窓口、まちなのりサポーターなど、市民や民間企業との協働で実施

【実施概要】

実施期間	期間	平成24年3月24日(土)開始
	運営時間	貸出 7:30~22:30 返却 24時間可
施設規模	自転車台数	155台
	ポート数	20箇所+事務局
料金体系		1日基本料金 200円 1月基本料金 1,000円 1年基本料金 9,000円 追加料金 30分超ごとに200円
初期登録	登録方法	ポート(タッチパネル) 窓口(申込書記入)
	登録場所	ポート(無人)、窓口
管理	管理方法	無人・遠隔管理
	貸出・返却の管理	貸出:ICカード等 返却:ラックに返却
	集中管理	自動データ送信等
	個人認証媒体	ICカード又はパスワード
	料金收受	無人:クレジットカード 有人:現金
機器	自転車車両	・小径車、新車 ・20インチ、内装3段変速 ・自動ライト点灯、前カゴ
	ラック	個別電磁ロック式
	その他	路上端末機 (利用手続、利用履歴確認、 精算書発行、ポート満空等)

担当 : 金沢市歩ける環境推進課 吉田、松村
連絡先: 076-220-2371
運営事業者: (株)日本海コンサルタント 片岸、井上

【目的等】

- (目的)・来街者の2次交通の充実
・市民の足としての都市内交通の充実
(背景)・平成22年8月~10月: 社会実験を実施
・平成27年3月14日: 北陸新幹線開業

【利用実績】

	H24.3.24~H28.1.31
購入者数	125,916人・件 1日利用者: 122,945人 1月利用者: 2,520人 1年利用者: 184人 法人会員: 267件
延べ利用回数	492,479回
1日平均利用回数	350回/日
回転率	2.26回/台・日
平均利用時間	19分/回

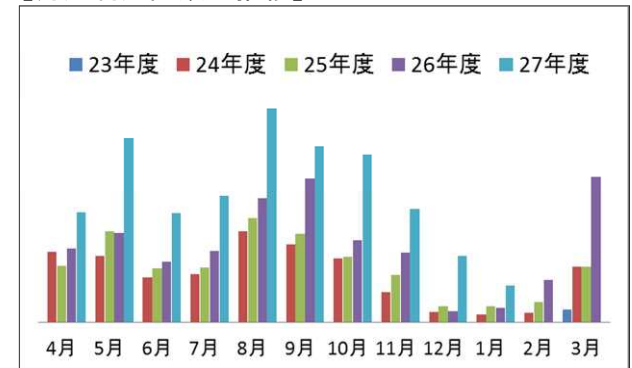
★ H27年度	1日平均利用回数	602回/日
	回転率	3.88回/台・日

【H27実施事項】

- 片町ポートの追加
- 自転車の更新・駐輪機器台数の調整
- 安心走行MAPの作成
- まちなのりクーポンの実施
- 各種利用促進事業の実施



【月別利用回数の推移】



kobelin

神戸市
「Kobe Linkle」 (通称コベリン)

こうべリンクル

○市が事業者を公募し、民営事業として実施
 (「道路占用を活用した民間駐輪場の整備・管理運営事業」と併せて実施)
 ○KOBE, link(リンク・つなぐ), cycleを組み合わせた名称を市民投票で決定
 (場所と場所をつなぐ、人と人をつなぐコミュニティサイクルのイメージ)

【実施概要】

実施期間	期間	H27.3.26~H42.2.1(約15年間)
期間	運営時間	24時間
施設規模	自転車台数	70台(平成30年度までに150台まで拡充)
規模	ポート数	10箇所(平成30年度までに15箇所まで拡充)

料金体系	【1回利用】最初の60分100円 以後30分毎100円 (1日最大1,000円)
	【1日利用】500円

初期登録	登録方法	・WEB ・無人登録端末機(2箇所)
	管理方法	遠隔管理

管理	貸出・返却の管理	・パスコード ・登録したICカード
	集中管理	自転車の位置情報やバッテリー残量をリアルタイムで把握
	個人認証媒体	・パスコード ・登録したICカード
	料金収受	・クレジットカード ・交通系ICカード (無人登録端末機のみ)

機器	自転車車両	・電動アシスト ・ブリジストン製 ・20インチ、3段変速
	ラック	平置き用ラック
	その他	後輪ドレスガードに広告を掲出

【目的】

○実施の目的:
 ①都心、ウォーターフロントの回遊性の向上
 ②自転車総量の抑制と、放置自転車の削減
 ○想定したターゲット:
 観光、買物、ビジネス、通勤など様々な利用を想定

【利用実績】

登録者数(H28.1末時点)	8,524名
延べ利用回数(H28.1末時点)	18,934回
1日平均利用回数	約62回/日
回転率	約0.9回/台・日
平均利用時間	約90分/回



三宮駅前ポート



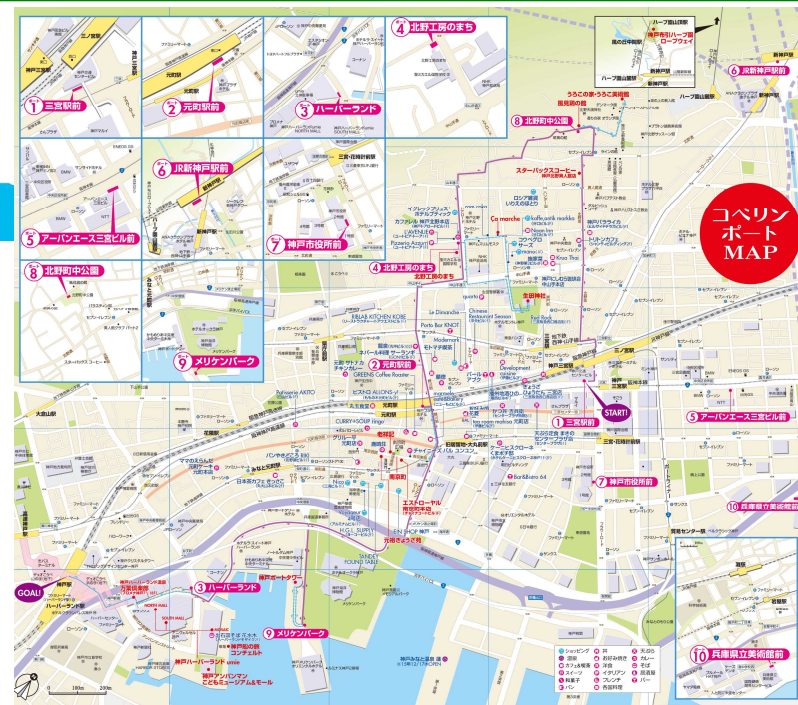
利用案内看板



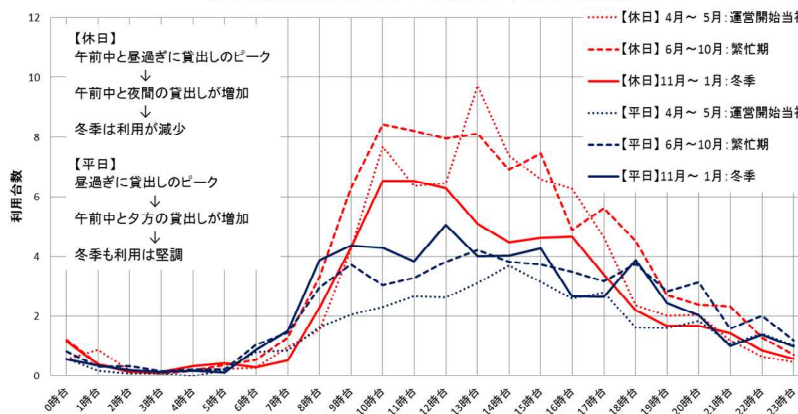
神戸市役所前ポート



利用状況



時間帯別利用状況(日平均貸出し手続きの回数)



【評価】

○積極的な広報の効果もあり、開始当初としては想定を上回る利用
 ○平日の日常利用(ビジネス利用など)の促進が課題
 ○今後、利用者アンケートや移動経路の分析を参考に、ポートの拡充を検討する

運営:サイカパーキング株式会社
 (連絡先)06-6344-4021 藤澤

担当:神戸市建設局道路部計画課
 (連絡先)078-322-6646 畑田、福本

CYCA

BE KOBE



City of Design
 KOBE
 Member of the UNESCO
 Educational, Scientific and
 Creative Cities Network
 since 2008



兵庫県姫路市 みんなの自転車 姫ちゃんり

- コミュニティサイクル本格導入に向けた**機械式**による**第二次社会実験**
- 全国的にも珍しい本格的な**トランジットモール**における**回遊性向上**としてのツール
- 世界遺産・姫路城の“**白**”、地元ゆかりの藍染めの“**藍色**”でデザイン統一

【実験概要】

実施期間	期間	H27年10月10日～H28年3月31日 計168日間
	運営時間	9:00～19:00 ※2月と3月は8:00～19:00
施設規模	自転車台数	100台(実稼働台数80台)
	ポート数	10箇所
料金体系	基本料金	1日利用:100円
	利用料金	60分まで無料 以降60分ごとに100円追加
初期登録	登録方法	端末操作、Web登録
	登録場所	サイクルポート、Web
管理	管理方法	無人システムによる遠隔管理
	貸出・返却の管理	貸出:ICカードまたはパスワードを利用 返却:ラックに返却(※満車時返却機能あり)
	集中管理	自動データ返信等
	個人認証媒体	ICカードまたはパスワード
	料金収受	クレジットカード決済(全ポート) 現金(2ポート)
機器	自転車車両	・小径車、20インチ、変速機無 ・新車(ウェルビーサイクル工業) ・泥除けを専用色に変更
	ラック	個別の電磁ロック式
	その他	・端末機 5ヶ国語対応「日・英・中(簡・繁)・韓」 ・端末機で利用履歴、満空情報を確認可能 ・イベント時に有人ポートを増設可能

【実験の目的】

- 想定したターゲット:観光、業務、私事等
- 実施の目的や背景等:中心市街地へ公共交通で来られる方への二次的な交通手段として、市街地の回遊性・魅力の向上や地域・観光の活性化を図る。

【利用実績】

※H27.10.10～H27.12.29(81日間)

登録者数	4,779名
延べ利用回数	7,087回
1日平均利用回数	87.5回/日
回転率	1.1回/台・日
平均利用時間	44分/回

【実験の評価】

- 昨年度の有人管理に続き、今年度は機械式の無人サイクルポートを導入したが、目標としていた回転率1.0を上回り、一定のニーズや利便性の向上を確認できた。
- 平成28年度は第二次社会実験結果を踏まえ、本格導入を実施する予定。

担当 : 姫路市都市局交通計画室(山本, 宮内)
連絡先 : 079-221-2465
運営事業者 : 株式会社福山コンサルタント

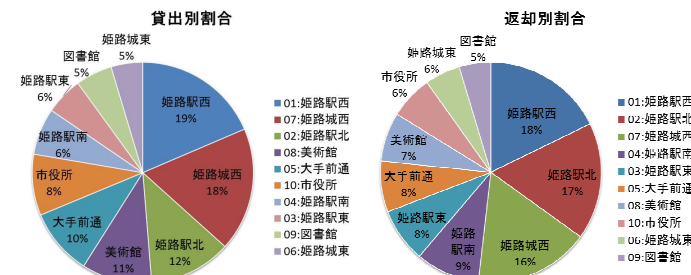


ポート(②姫路駅北ステーション)



使用車両

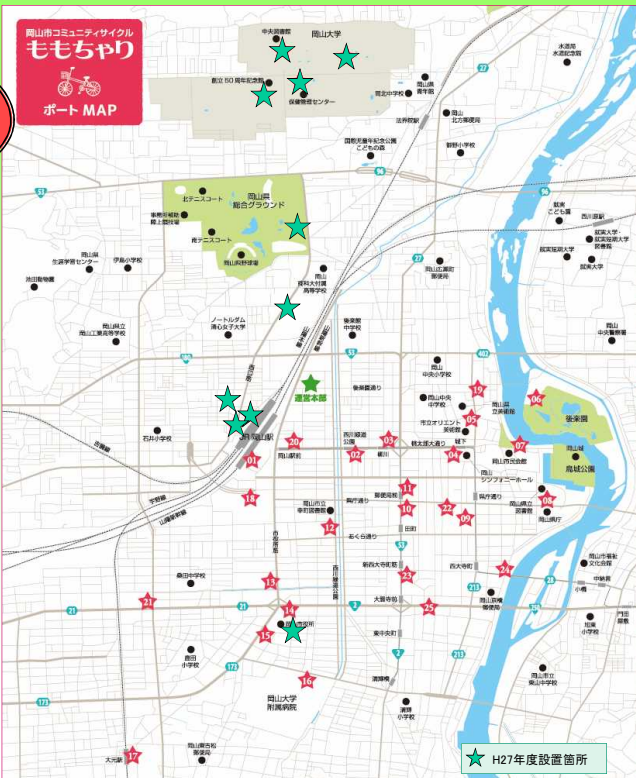
【ステーション別利用割合】





岡山市 コミュニティサイクル「ももちやり」

H27年度
岡山駅西口方面中心に
ポート10箇所
自転車100台増設！



- 市と事業者で協定を結び、市が設置した機器等を無償提供することにより、事業者が管理運営。
- ポートで簡単に登録可能(1~2分。携帯電話とICカードのみ必要。)
- 現金、交通系ICカード、クレジットカード、口座振替で支払い可能。

【実施概要】		
実施期間	期間	平成25年7月27日(土)開始 ※平成25年8月31日までは基本料金無料で実施
	運営時間	24時間(1箇所ポート除く)
施設規模	自転車台数	332台
	ポート数	35箇所
料金体系		○利用料金=基本料金+追加料金 ・基本料金、追加料金 右図【料金プラン】のとおり
初期登録	登録方法	ポート(タッチパネル) 運営本部(申込書記入)
	登録場所	ポート(無人)、運営本部
管理	管理方法	無人/遠隔管理
	貸出・返却の管理	貸出:ICカードをラックにタッチ 返却:ラックに返却 (満車時でも路上端末機を操作することで返却できます)
	集中管理	自動データ送信
	個人認証媒体	ICカード(Felica対応の交通系、流通系ICカード/おさいふケータイ等)
機器	料金收受	現金/交通系ICカード/クレジットカード
	自転車車両	・小径車/新車(パナソニック) ・20インチ、3段変速
	ラック	個別電磁ロック式
	路上端末機	会員登録、料金支払、料金プラン変更

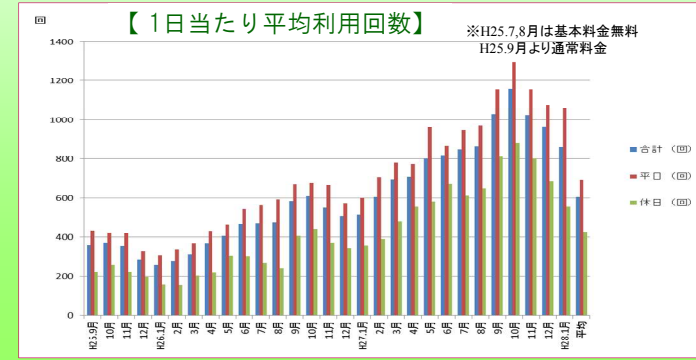
【料金プラン】			
	料金プラン	基本料金	追加料金
個人	1回利用	100円	各プランとも1回の利用が60分を超えた場合、30分ごと100円追加(24時間上限1,000円)
	60分くりかえし利用	200円	
	回数券(5回券)	300円	
	1ヶ月利用	1,000円	
	6ヶ月利用	5,000円	
法人	1年利用	9,000円	
	1年利用	10,000円	

【利用実績(H25.9.1~H28.1.31)】	
登録者数	38,024名(H25.7.27~H28.1.31)
延べ利用回数	536,055回
1日平均利用回数	607.08回/日
回転率	3.10回/台・日

- 【今後の展開予定・課題】
- 収支状況の改善
 - さらなる利用促進
 - 観光客への周知



専用アプリをダウンロードすれば、リアルタイムで各ポートの自転車配置状況が確認できてとっても便利！



- 【導入の意義】
- 公共交通利用への転換を促進するツール
 - 賑わいのある都心部を創出するツール
 - 街を彩り、本市のイメージアップに資するツール

	iPhone	Android	合計
総ダウンロード数	9,665	2,945	12,610

(平成28年1月末現在)

担当：岡山市交通政策課自転車先進都市推進室 矢野・阿川
 連絡先：086-803-1375
 運営事業者：中央復建コンサルタンツ(株)



高松市 高松市レンタサイクル

- 機動性に優れた都市内交通手段である自転車の利用環境づくり
- 地域交通の利便性を向上させるとともに放置自転車の防止を図る
- 放置自転車の再利用

【実施概要】

実施期間	期間	年中無休
	運営時間	7:00~22:00
施設規模	自転車台数	1,250台
	ポート数	7箇所
料金体系	登録料	無料
	利用料金	24時間以内200円 (ただし、6時間以内100円) 定期利用:1ヶ月 2,000円 3ヶ月 5,500円
初期登録	登録方法	申込書記入、身分証明書提示、レンタサイクル利用証発行等
	登録場所	窓口
管理	管理方法	有人3ポート/無人4ポート
	貸出・返却の管理	ICタグで管理、精算機で精算
	集中管理	レンタサイクル管理センターで集中管理(インターフォン等)
	個人認証媒体	レンタサイクル利用証
機器	料金収受	現金/イカカード(交通IC)
	自転車車両	・軽快車24/26インチ(変速なし)、 ・幼児二人乗り自転車 ・放置自転車のリサイクル
	ラック	平置き/ラック式
	その他	ゲートシステム

【目的】

- 想定したターゲット: 観光/業務/私事/通勤等
- 実施の目的や背景等:
 - ・土地の地形や温暖少雨な気候などから、自転車の利用が盛ん
 - ・駅周辺の放置自転車問題の深刻化
 - ・利便性の高い端末移動手段の確保

【利用実績(H26)】

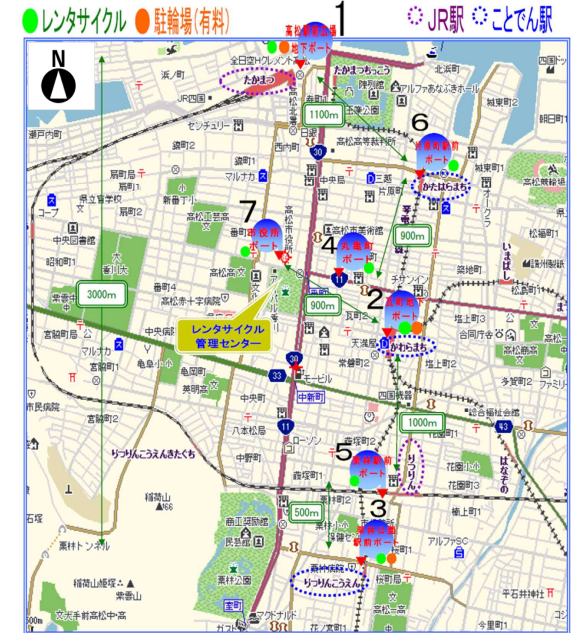
登録者数	31,436名(新規)
延べ利用回数	306,580回
1日平均利用回数	840回/日
回転率	0.7回/台・日
平均利用時間	—

【評価】

- 年間、30万回を超える利用があり、まちなかの移動手段として定着している。
- 26年度に取り入れた新デザインは好評を得ている。
- 収益のバランスが課題。

担当 : 高松市 都市計画課 事業係(佐々木)
 連絡先: 087-839-2455
 運営事業者: 高松市駐車場等管理共同企業体
 シンボルタワー開発(株)

高松市レンタサイクル7ポート 位置図



片原町ポート



レンタサイクル車両

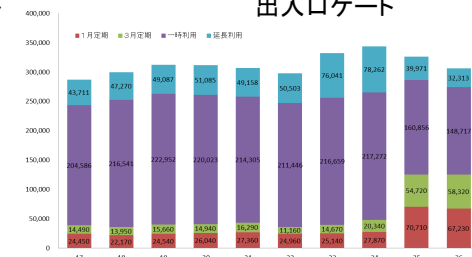


市役所ポート



出入口ゲート

◆利用状況





鹿児島市 コミュニティサイクル「かごりん」

- 事前登録不要で、サイクルポートの端末機で簡単に登録できるシステムを構築
- デジタルサイネージ(電子看板)を付設し、観光情報や行政情報等を提供
- 運営事業者の付帯事業として、ホテル等にマガジン(年4回発行)を設置し、利用促進
- 再配置車両をガソリン車から電気自動車に変更して、システム全体をさらに低炭素化

【実施概要】

実施期間	平成27年3月1日開始
期間	24時間
施設	自転車台数 174台
規模	ポート数 21箇所

料金体系

料 金	登録料	利用料
1日(24時間)会員	200円/日	・会員期間内なら何回利用しても30分以内は無料 ・30分を超えると30分ごとに100円
1ヵ月(31日)会員	1,000円/月	・30分を超えると30分ごとに100円
法人会員 ※窓口登録のみ	2,000円/月	※一旦、自転車をポートに返すと、また30分は無料です。
時間貸	200円/30分	(クレジットカードのみ精算可)

初期登録	登録方法	ポート(タッチパネル)窓口(申込書記入)
	登録場所	ポート(無人)、窓口
管理	管理方法	無人・遠隔管理
	貸出・返却の管理	貸出: 携帯電話、ICカード 返却: ラック
	集中管理	各ポートから自動でデータ送信
	個人認証媒体	携帯電話番号、ICカード
機器	料金收受	現金、クレジットカード、電子マネー(nanaco、WAON)
	自転車車両	・小径車、新車(パナソニック) ・20インチ、3段変速
	ラック	電磁ロック

【目的】

自家用車等から環境にやさしい自転車プラス公共交通への転換を促進し、温室効果ガス排出量の削減、中心市街地の回遊性向上、観光の振興を図る。(経緯)

- ・平成23、24年度に社会実験を実施
- ・平成25年度に導入へ向けた課題を整理
- ・平成26年度に導入し、運用を開始

【利用実績 H28年1月末現在】

登録者数	延べ18,384名
延べ利用回数	136,507回
1日平均利用回数	405回/日
回転率	2.3回/台・日

【評価】

- 簡単登録+現金の手軽さなどから、通勤や観光等に幅広く活用され、予想を上回る利用状況。
- 積極的な広報等による新たな利用者発掘、利便性をさらに向上させるシステム等の改修が必要。
- 安全・快適な走行のため、こまめな自転車の保守点検を続けることが必要。
- 今後は、臨時ポート設置等でニーズ調査を行うとともに、民間企業の協力等による増設を検討。

担当: 鹿児島市環境政策課 西園、白石
連絡先: 099-216-1296
運営事業者: 株式会社JTB九州

かごりん



HP: <http://kagorin.net/>



サイクルポート



使用自転車



観光スポットにも設置



さて、このかごりん、かごりんの「りん」はリンクの「りん」。人と人をつなぐという、そういう意味があると思います。ジュピロ磐田キャンプへ自転車提供(メッセージをデジタルサイネージで放映)



民間企業よりポート寄贈(H27.8)



再配置用電気自動車導入(H28.3~)

あなたとつくるやさしいまち

porocle

札幌市 サイクルシェアリングサービス

札幌みんなのサイクル ポロクル (Porocle)

- ・シェアリング事業を通じ、札幌のまちづくり・人づくり・魅力づくりへの貢献を目指す。
- ・民設民営方式で事業を実施。NPO法人化1年目、事業化5年目のシーズンが終了。
- ・2015年は社会貢献活動・事業を拡大展開、より多くの市民参加を得た。

【実施概要】

実施期間	5/1(金)～10/31(土) 計184日間				
期間	運営時間 7:30～21:00				
施設規模	自転車台数 350台 ポート数 44カ所				
料金体系	<ul style="list-style-type: none"> ・登録料：324円 ・カード代：540円(送料：432円) ・利用料金： <table border="1"> <tr> <td>1ヶ月</td> <td>基本：1,620円/円、延長(利用)：108円/30分</td> </tr> <tr> <td>1回</td> <td>利用：108円/30分</td> </tr> </table>	1ヶ月	基本：1,620円/円、延長(利用)：108円/30分	1回	利用：108円/30分
1ヶ月	基本：1,620円/円、延長(利用)：108円/30分				
1回	利用：108円/30分				
初期登録	登録方法	PCおよびモバイルWeb登録(ポートでのおサイフケータイ登録可)、登録所登録 ※会員情報・クレジットカード入力			
	登録場所	Web/ポート/登録所等			
管理	管理方法	管理サーバーによる遠隔集中管理 ※データ自動送信			
	貸出・返却の管理	セルフサービス(ICカード認証)/サーバーによる自転車管理			
	個人認証媒体	専用ICカード/おサイフケータイ/SAPICA(交通カード)			
	集中管理	自動データ送信			
	料金收受	クレジットカード/請求書(法人)			
機器	自転車車両	・オリジナルシティサイクル(南雲勝志氏デザイン、武田産業(株)製作) ・26インチ、3段変速、自動点灯ライト			
	ラック	平置き/電磁ロック			
	その他	無線通信/ソーラーパネル			

【利用実績】

登録者数	一般9,779件、法人754件(261社) 観光2,230件
延べ利用回数	95,047回
1日平均利用回数	517回/日(最大867回/日)
回転率	1.7回/台・日(最大2.9回/台)
平均利用時間	24分/回

【目的】

- ターゲット：市民(通勤・私事)、企業(主に業務)、観光客。
- 実施目的：民間が担う新たな交通サービスとして事業展開するとともに、ルール・マナー啓発など社会貢献活動を実施。サイクルシェアリング事業を通じたまちづくりで、札幌の魅力向上への貢献を目的としている。

【評価】

- 一般および法人会員の合計が10,000件を突破。一方で利用回数は前年比85%と低下。営業開始時に供用出来なかったポートがあったことが影響。
- 観光プラン販売の委託先として観光施設やホテルなどと連携。申し込み手続きの簡素化は販売窓口や利用者から好評を得た。販売件数は2,200件。
- NPO法人化により行政や警察との連携が拡大し、市民に直接働きかけ、参加を促す活動の機会が増加。行動変容に繋がったなどの声を得ている。

■自転車免許教習所の開催 ～イベント SAPPORO♡BICYCLE DAYS～
自転車に関するルール・マナーの向上を目的としたイベントで免許教習所を実施。“歩行者への思いやり”“自分への思いやり(安全確保)”の大切さについて、学科教習⇒会場内コースでの運転教習⇒実際の路上での運転教習の各シーンで重要な局面を想定した問いかけを実施。最後に卒業検定を通過した方にオリジナル免許を交付した。
◇実施期間：9月19日(土)、20日(日)(2日間) ◇参加者：計66名



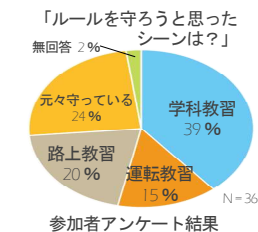
警察官による学科教習 仮設コースでの運転教習



実際の道路での路上教習 オリジナル免許証の交付



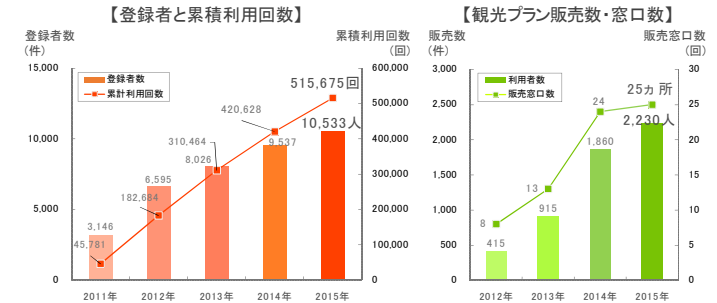
交付したオリジナル免許証



参加者アンケート結果



オリジナルシティサイクル 車道に面して設置したポート 運営の様子



■市、まちづくり会社と連携した押し歩き啓発事業の実施

多くの人が集まる札幌駅前通を「自転車押し歩き地区」として位置付け、押し歩き啓発事業を2カ月間毎日3時間実施。“歩行者の安全性向上”と“歩道は歩行者優先”という交通安全意識を道行く人々に広めた。2016年度も引き続き取り組む予定で、今後ルール遵守率の変化を検証していく。

◇実施期間：9月1日(火)～10月31日(土) 毎日夕方3時間活動 ◇参加スタッフ 延べ485人



配布したルール・マナー冊子 押し歩き声かけ前 押し歩き声かけ後

◇参加スタッフの声

「押し歩きをしている人が増えてきたように感じた。」
「地道に続けることが大事だと感じた。継続的に活動していきたい。」
「自転車の問題や社会について考えるきっかけになった。」
「この活動がきっかけに、市全体の意識が変わってほしいと思う。」



■運営事業者：特定非営利活動法人 ポロクル ■連絡先：011-896-5601 担当：熊谷 美香子・唐澤 弥生

- 日本で最初のコミュニティサイクル本格実施
- 屋外広告を活用して収支を健全化、富山市には運営費用の負担無し
- 市政情報パネルを設置(歩道側:地図or市政情報、車道側:広告)
- 全20箇所のポートはほぼ全て道路上に設置(3箇所公園内、1箇所市有地)

【実施概要】

実施期間	期間	2010年3月20日～ 2,112日(2015年12月末時点)
	運営時間	24時間365日
施設規模	自転車台数	170台(150台)
	ポート数	19箇所(2016年3月末で20箇所へ)
料金体系	登録料: 無料	
	基本料: 定期パス500円/月 パスカ 700円/月 メンバーカード 7日パス1,000円 2日パス500円 1日パス300円 利用料: 最初の30分無料 次の30分200円 以降30分毎に500円	
初期登録	登録方法	必要情報記入後、会員カード及びID番号を発行
	登録場所	Web、郵送、提携ホテル・駐車場窓口
管理	管理方法	専用ITシステム管理(無人/遠隔)
	貸出・返却の管理	専用ITシステム管理(無人/遠隔)
	集中管理	専用ITシステム管理(無人/遠隔)
	個人認証媒体	ICカード、ID番号
機器	料金収受	クレジットカード、口座振替、現金
	自転車車両	・自社設計開発、専用自転車 ・26インチ、3段変速、前後LEDライト、鍵付き
	ラック	埋設基礎式、カードリーダー組込
	その他	ターミナル

【目的】

- 想定したターゲット
市内中心部に訪訪する全ての方が対象。
- 実施の目的や背景
富山市は環境モデル都市として、「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」によるCO2排出量の大幅な削減を目指しており、特に過度な自動車利用の見直しが大きな焦点。交通網としての利便性を高めることにより、近距離の自動車利用の抑制を促し、二酸化炭素の排出量の削減を図るとともに、中心市街地の活性化や回遊性の強化を図ることを目的としています。

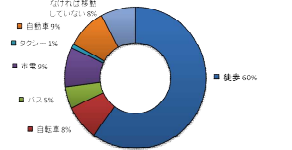
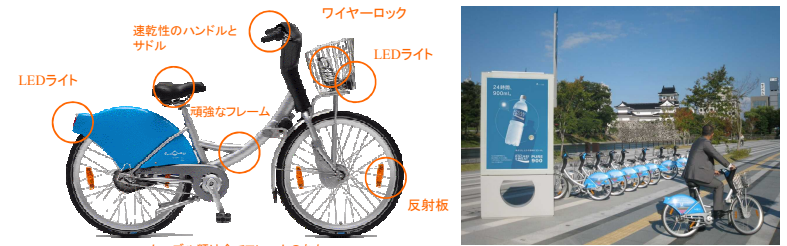
【利用実績】2015年12月末時点

登録者数	7,269名
延べ利用回数	277,998回
2015年 1日平均利用回数	162回/日(通年) 183回/日(3月～11月)
回転率	0.96回/台・日
平均利用時間	約10分/回

【評価】

- 利用回数が毎年増加
-2010年: 31,306回
-2011年: 40,224回 (前年比28%増 ↑)
-2012年: 44,926回 (前年比12%増 ↑)
-2013年: 45,368回 (前年比1%増 ↑)
-2014年: 54,742回 (前年比21%増 ↑)
-2015年: 59,312回 (前年比8%増 ↑)
・自動車(タクシー含む)からの転換が10% (CO2排出削減に貢献)
・概ね80%の利用者がサービスに満足
-ステーションの増設(2015年3月 2ヶ所増設)
-ステーション・パネルへの防犯カメラ導入
- 今後の課題、展開予定等
-サービスクオリティの維持
-北陸新幹線開通により増加傾向にある観光客需要の取り込み

担当 : 富山市環境政策課
連絡先: 076 443 2051
運営事業者: シクロシティ株式会社
連絡先: 03 5217 2510



「(シクロシティを利用する)以前までの移動手段は?」(N=308)

ステーション及びパネルの増設(2016年3月末完了)

富山駅南口駅前広場ステーションと水墨美術館ステーションの2箇所が増設され、20ステーションへ。人気観光エリアへのアクセスがより便利になります。



新設パネルには防犯カメラを設置。サービスの安全及び地域の防犯に貢献。